

(2) 資金の管理運用状況

資金(余裕金)の運用は、法第77条の規定に従って運用された。

イ. 給付経理

(第8表) 基本ポートフォリオと資産構成

運用区分	銘柄	資産区分	資産額 (百万円)	構成比 (%)	資産区分	基本ポート フォリオ(a)	乖離 許容幅	現行ポート フォリオ(b)	乖離実績 (b-a)
自家運用	国債	国内債券	175,882	16.9%	国内債券	89.5%	±7.0%	85.2%	-4.3%
	地方債		83,740	8.1%					
	政府保証債		278,450	26.8%					
	金融債		55,800	5.4%					
	財投機関債		27,607	2.7%	国内株式	5.3%	±2.2%	1.5%	-3.8%
	定期預金		52	0.0%					
	短期運用		-	-					
	普通預金		30,207	2.9%	小計	651,739	62.8%	-	-
委託運用	包括信託	国内債券	206,361	19.9%	外国債券	2.6%	±1.3%	8.4%	5.8%
		国内株式	16,039	1.5%	外国株式	2.6%	±1.3%	4.8%	2.2%
		外国債券	87,176	8.4%					
		外国株式	50,004	4.8%					
		小計	359,580	34.6%	計	100.0%	-	100.0%	-
生命保険資産	国内債券	26,629	2.6%						
合計			1,037,948	100.0%					

(注) 包括信託の会計文書の勘定科目名は金銭信託である。

単位未満は四捨五入しているため、内訳と合計額が一致しないことがある。

令和4年4月1日開始の合同運用への移行のため、基本ポートフォリオから乖離が生じている。